

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日（主幹等）	31年3月31日
2次評価日（課長等）	31年3月31日

1 事業名	環境衛生推進事業		コード	82204	
2 担当部課	部等	市民環境部	課等	市民環境課	
	作成者	吉沢 透			
3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政 策	循環型社会の構築	施 策	環境衛生対策の推進
		予算科目	環境衛生推進費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	狂犬病予防法、水道法		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	犬の登録事務、狂犬病予防注射事務、動物死骸処理、墓地等、昆虫等駆除、専用水道・簡易専用水道・浄化槽届出処理等	
目的	対象者	市民、利用者
	意 図	公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。

5 事業の実施内容	*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
	<ul style="list-style-type: none"> 犬の登録、狂犬病予防注射に関する事務を行った。 新規登録数：128頭 予防注射実施頭数：1,607頭 集合注射 実施場所：市内公会所等 延べ30会場 実施日：4月18日・19日、5月23日・24日・27日の5日間 アメリカシロヒトリの駆除方法等について、広報おかやによる周知・啓発を図った。 犬猫等動物の死体の収容：120件 丸戸共同墓地の維持管理を行った。 草刈り等清掃業務（シルバー人材センターへ委託） 専用水道に関する立入検査及び届出等の事務処理を行った。 	
前年度の課題への対応	市ホームページ・広報おかやを利用し、犬の登録や狂犬病予防注射の啓発を行った。	

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 活動指標（指標名）	狂犬病予防集合注射実施日数			単位 日
実績値	5	5	5	
*指標の説明	狂犬病予防集合注射実施日数			
② 成果指標（指標名）				単位 %
目標値	95	95	95	95
実績値	87	86		
達成度	91.6%	90.5%	0.0%	
*指標の説明	注射済頭数÷台帳登録頭数			
*目標値の設定方法の説明	注射済頭数÷台帳登録頭数			

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	1,974,248	1,993,837	1,965,518	2,241,000
経常経費	1,974,248	1,993,837	1,965,518	2,241,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	7,520,000	5,440,000	5,440,000	5,440,000
正規職員の人数(人)	0.94	0.68	0.68	0.68
③ 合計コスト(①+②)	9,494,248	7,433,837	7,405,518	7,681,000
前年度比		78.3%	99.6%	103.7%
財源				
一般財源	8,045,698	5,896,787	6,090,108	5,851,000
内訳				
特定財源	1,448,550	1,537,050	1,315,410	1,830,000
* 特定財源の説明 犬の登録等手数料、県委託金				
④ 活動一単位あたりコスト	1,898,850	1,486,767	1,481,104	
前年度比		78.3%	99.6%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 0.0%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 0.0%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 犬の登録頭数に比べ、狂犬病予防注射済票交付件数が少ない。(注射猶予分は除く)	
	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 市ホームページや広報おかや等を利用し、犬の登録関係や予防注射実施の周知啓発を図る。	
改善方法		
改善開始時期	平成31年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---